

地域とつながる 森ノ宮医療大学

～2018年度の社会連携事業～

想いのすべてを、医療の力に。



森ノ宮医療大学

学長からのご挨拶

森ノ宮医療大学は、大阪市住之江区の咲洲地区に2007年4月に誕生した医療系総合大学です。現在は、保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、臨床工学科、鍼灸学科の6学科と大学院（修士課程・博士後期課程）、助産学専攻科があり、医療職や研究職、教育職に就くことを目指す約1,500名の学生たちが学んでいます。



本学では、2020年4月に診療放射線学科（仮称）、大学院保健医療学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を開設予定であり、更なる医療系総合大学として健康や医療に関わる教育研究活動と、社会に向けた情報発信に努めていきます。近隣にお住まいの皆さまをはじめ、企業や自治体と連携してさまざまな地域貢献活動を進めていきたいと思っております。

2019年6月
森ノ宮医療大学 学長 荻原 俊男

市民公開講座 予防・治療から社会復帰へのケア—最近の進歩—

第1回「命を守る臨床工学」

2018年度第1回の市民公開講座は、4月15日（日）に「命を守る臨床工学」をテーマに開催しました。基調講演では、本学臨床工学科学科長 片山俊郎教授が「命を守る臨床工学」について講演を行いました。その後大阪急性期・総合医療センターから臨床工学室 中村年宏先生をお招きし、「人工透析の進歩」についてご講演いただきました。

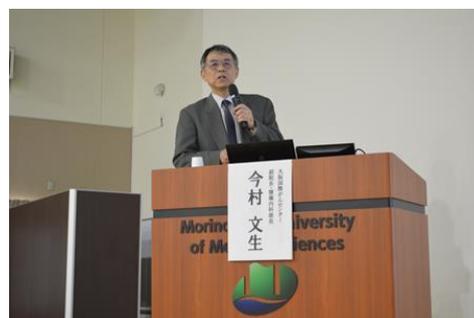
また本学臨床工学科 加納寛也准教授、看護学科 清水容子教授が、それぞれ「手術と臨床工学」、「暮らしと工学機器」というタイトルで講演を行いました。



第2回「がん診療の最前線」

第2回は6月17日（日）に「がん診療の最前線」をテーマに開催しました。基調講演では、大阪国際がんセンター副院長・腫瘍内科部長の今村文生先生をお招きし、「がん診療の最前線」についてご講演いただきました。

その後、本学看護学科学科長 吉村弥須子教授、臨床検査学科 竹岡啓子教授、鍼灸学科 仲西宏元教授がそれぞれ「がん患者の看護」、「腫瘍マーカーについて」、「緩和ケアと鍼灸」をテーマに講演を行いました。



第3回「パーキンソン病」

第3回は10月28日（日）に「パーキンソン病」をテーマに開催しました。まず基調講演では「パーキンソン病—診断と治療—」について大阪急性期・総合医療センター神経内科部長 深田慶先生にご講演いただきました。続いて本学看護学科 黒木美紀助教、理学療法学科 木内隆裕准教授がそれぞれ「パーキンソン病と看護」、「パーキンソン病と理学療法」をテーマに講演を行いました。その後、作業療法学科 橋本弘子教授の指導の下、来場の方々も体を動かして参加できる「ニューロダンス」による楽しいリハビリを体験しました。



もりもりひろば

本学近隣にお住まいの0歳から1歳半の赤ちゃんとそのご家族を対象に、育児に役立つ情報提供や健康教育、家族同士の交流促進などを目的として、大学内でほぼ毎月1回「もりもりひろば」を開催しています。看護学科の教員が中心となって運営しており、子育て支援にとどまらず、家族ヘルスプロモーション支援として、母親の身体的・精神的健康への啓発（がんばりすぎない子育て、笑いヨガ、乳がん自己検診法など）にも取り組んでいます。

開催日	テーマ
4/22	がんばりすぎない子育て（保育士の講演）
5/27	笑いヨガでストレス解消
6/24	子どもの周りには危険がいっぱい
7/22	赤ちゃんとのスキンシップ♡
9/9	食事のバランスを考えてみませんか
10/14	家庭でできるファミリーケア
11/11	おかあさんのヨーガ
12/2	感染症の予防は手洗いから
2/10	赤ちゃんの発達と関わり方
3/24	乳がんは自分で見つけましょう



ほほえみクラブ

地域の高齢者のみなさんを対象に、2015年度から開催している看護学科教員による介護予防教室「ほほえみクラブ」。その活動は、認知症予防ゲーム「スリーA」※を柱としていますが、作業療法学科、理学療法学科、鍼灸学科の教員の協力も得て、各学科の特徴を生かした健康のサポートを行っています。



※スリーA増田方式認知症予防ゲーム：スリーA（あかるく・あたまを使って・あきらめない）

健康体力測定

2018年11月4日(月・祝)に南港ポートタウン内で、大阪市住之江区役所主催のファミリーフェスタが開催されました。本学からは理学療法学科の三木屋ゼミが参加し「健康体力測定」を実施しました。

筋力、柔軟性、バランス能力等の測定項目があり、地域の老若男女約100名が本学のブースを訪れました。参加者は健康志向の方が多く、健康について考えるより良い機会となりました。



「認知症サポーター」養成講座

2018年8月28日(火)、9月14日(金)に大阪市立南港北中学校で「認知症サポーター」養成講座を開催しました。本学看護学科の福島信也教授が講師として授業を行い、本学の3年生も助手として参加しました。

1回目の授業は、認知症の方にしてあげられることを中心に学びました。特にロールプレイでは、認知症の方への声掛けなどを体験しました。2回目の授業では前回の授業を踏まえ、認知症をテーマにした教材を用いて道徳の授業を行いました。認知症の方をサポートするだけでなく、人とのつながり方等についてもクラスで話し合いました。

中学生が認知症について考えるきっかけとなる参加型の講座になりました。

中学校での養成講座の風景

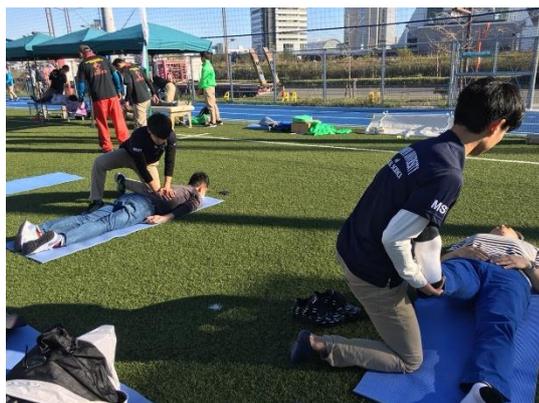


第34回住之江区民マラソン大会

2019年2月11日（月・祝）に南港中央公園で住之江区体育厚生協会主催の第34回住之江区民マラソン大会が開催されました。本学は「はり・きゅう体験ブース」を設置し、はり、きゅうの体験、ストレッチを実施しました。大阪府鍼灸師会ご協力のもと、鍼灸学科の学生も施術サポートを行いました。将来スポーツトレーナーを目指す学生にとっても、貴重な経験の場になりました。



第8回大阪マラソン 開催前イベント



2018年11月25日（日）に第8回大阪マラソンが開催されました。その開催前イベントとして、本学では、11月23日（金）、24日（土）にグリーンスクエアで、走者を対象としたケアサポートを行いました。

大会に向け、鍼灸学科の学生が中心となって運営している学生トレーナー（メディカルスポーツトレーナー研究会：MST）によるサポートを受けた参加者の方々に、ご好評をいただきました。

咲洲こどもフェスタ

2018年11月3日（土）、4日（日）に「咲洲こどもフェスタ」がATC（アジア太平洋トレードセンター）、さきしまコスモタワーで開催されました。

本学からは臨床工学科の教員及び学生が「科学の不思議を体験しよう！身の回りで起こる不思議なことを簡単な実験を行ってみんなで解き明かそう。」をテーマにブースを設置し、静電気での電気ショックや手を触れずに物を動かす体験、空気力で物を倒す体験を実施しました。多くのご家族が参加くださり、大いに盛り上がったイベントとなりました。



舞洲みんなのマラソン

2019年3月17日（日）舞洲スポーツアイランド（舞洲運動広場）特設コースにて、舞洲みんなのマラソン実行委員会主催の「舞洲みんなのマラソン」が開催されました。本学からは、MSTの学生トレーナーがテントブースを出し、参加選手のケアにあたりました。

当日は3月にしては気温も低く、ヒョウ混じりの雨が降るなど参加選手には厳しいコンディションとなりました。その中で学生たちは日頃の研鑽技術を参加選手に提供し、厳しいコンディションの中でもよい記録が出るように懸命に取り組んでいました。ストレッチなどのコンディショニング後、笑顔でテントブースを後にされていた参加選手が多かったことは印象的でした。

学生は、貴重な機会を与えてくださった参加選手に感謝するとともに、どのような状況下でも選手に確かな技術の提供が出来るよう、さらなる技術の研鑽の必要性を痛感したようでした。



森ノ宮カップ

2019年2月9日（土）、10日（日）舞洲スポーツアイランド（舞洲運動広場）にて、「森ノ宮カップ U-12」を開催しました。大阪府と近畿の他4県から全24チームが集まり、サッカーを通じて同世代の仲間と交流を深めました。

本大会は、「セレッソ大阪スポーツクラブ」「大阪咲洲ロータリークラブ」のご協力をいただき、毎年開催しています。

また、MSTの学生トレーナーが大会の運営および参加選手の救急対応を行い、ストレッチ指導などコンディショニングの重要性を伝えました。今後もスポーツの発展と地域への貢献の一環として活動を続けていく予定です。



2018年度の連携協定



ミズノ株式会社との締結式

2018年4月19日(木)に、ミズノ株式会社と相互連携協定を締結いたしました。

両者は今後、教育・研究・医療・人材育成・スポーツと健康文化あふれる地域づくり等を通して連携・協力を進め、社会に貢献していきます。



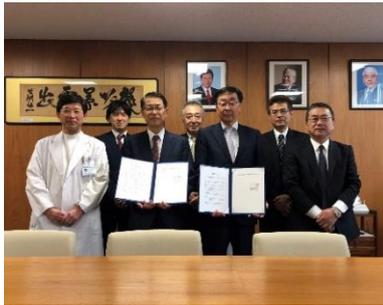
SAHMYOOK 大学 (三育大学) との締結式

2018年7月5日(木)に韓国のSAHMYOOK 大学(三育大学)と相互連携に関する協定を締結いたしました。

学生交流をはじめ、教職員間の学術交流、共同研究などを通じて、チーム医療に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人の育成をいたします。

2018年11月1日(木)に、近畿大学医学部附属病院(現:近畿大学病院)と、相互連携に関する協定を締結いたしました。

今後、同病院と本学は、相互の密接な連携・協力により、共同研究の実施、人材の相互派遣、本学学生に対する臨床実習指導等を行っていくとともに、教育研究活動の向上に寄与していきます。



近畿大学病院との締結式

2018年12月3日(月)に、大阪重粒子線センターと、相互連携に関する協定を締結いたしました。

今後同センターと本学は、相互の密接な協力・連携・人材交流により高度な医療・医学教育を共有し、保健医療・看護・健康増進・福祉等にかかわる地域の課題に積極的に取り組み、活力ある地域社会の形成・発展に寄与していきます。



大阪重粒子線センターとの調印式

2019年度 市民公開講座のご案内

回	開催日	テーマ	時間	実施状況
第1回	4月14日(日)	物忘れ	10:00~ 12:00	終了
第2回	6月16日(日)	診療放射線学の進歩	10:00~ 11:50	
第3回	10月27日(日)	がん診療の最前線2	13:30~ 15:30	

※開催場所はいずれも森ノ宮医療大学 当日は開催30分前より受付開始【入場無料・事前申込不要】

想いのすべてを、医療の力に。



保健医療学部

- 看護学科 ■理学療法学科 ■作業療法学科
- 臨床検査学科 ■臨床工学科 ■鍼灸学科

大学院 保健医療学研究科

- 保健医療学専攻(修士課程)
- 医療科学専攻(博士後期課程)

専攻科 助産学専攻科(1年課程)

※2020年4月、診療放射線学科(仮称)・看護学専攻(修士課程)(仮称)開設予定

